

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

【為替】

ブラジルの1月第1週のCPIが落ち着きを取り戻す結果となったことで、ドルレアルは取引開始よりレアル高へ進行。また、米国の12月CPI(消費者物価指数)がほぼ市場予想通りの結果となったことや、セントルイス連銀のブラード総裁が「現時点で今年の利上げは4回となりそうだ」と発言するも、前日にパウエルFRB議長が追加利上げに関して発言(インフレ抑制と景気の持続的拡大に必要な措置を講じると共に、追加利上げが必要な場合、時間をかけて実施する)していたこともあり、相場への影響は限定的。新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス感染者増加に伴い、サンパウロ州ではUTI(集中治療室)利用患者が大幅に増加しているとの報道があるも、特段大きな反応を見せず、ドルレアルは100日移動平均の水準(現在:5.49レアル台)が意識された値動きとなり、5.52レアル台迄レアル高が進行した。

【株式】

鉄鉱石価格の上昇継続に加え、ペトロブラス社のガソリン燃料・ディーゼル燃料の値上げを受けて、ボベスパ指数は取引開始より上昇。米国では12月CPIは前年比で39年ぶりの大幅上昇となり、早ければ3月からの利上げ観測が高まる中、地区連銀経済報告(ページブック)では経済の先行きを楽観視する企業の割合が低下したこともあり、米国株は伸び悩み。ボベスパ指数も上値が抑えられたことに加え、その後は特段大きな材料も無く、105,500ポイントを挟んで小幅な値動きとなった。

【その他】

・ブラジル1月第1週CPI(前月比):0.57%(市場予想:0.63%、前回:0.59%)

・米国12月CPI(前月比):0.5%(市場予想:0.4%、前月:0.8%)

(前年比):7.0%(市場予想:7.0%、前月:6.8%)

・米国地区連銀経済報告:楽観的な見方は依然として強いが、幾分か弱まった。今後6ヶ月間経済成長が継続するとの見通しを示した企業の割合が低下。

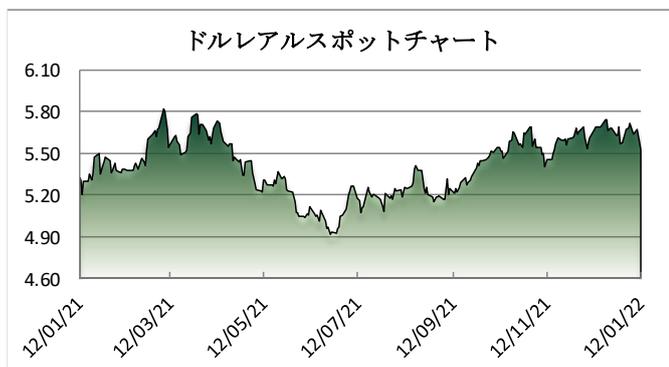
【COVID-19 感染者総数(1/12時点)※各種報道より】

ブラジル全体:22,724,232人(前日比+89,103人)、※サンパウロ州感染者数:4,483,053(前日比+4,585人)

マーケットデータ

Indicator		Unit	1月11日	1月12日			(年初来)	(年初来)
					前日比	1ヶ月前比	高値	安値
レアル	対ドル	BRL	5.5730	5.5203	0.95%	1.58%	5.5202	5.7247
	対円	JPY	20.70	20.71	-0.05%	-2.54%	20.76	20.22
	対ユーロ	BRL	6.3347	6.3207	0.22%	0.44%	6.3098	6.4749
円	対ドル	JPY	115.30	114.64	0.57%	-1.06%	114.38	116.35
	対ユーロ	JPY	131.07	131.16	-0.07%	-2.21%	130.02	131.60
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	103,779	105,686	1.84%	-1.92%	106,126	100,850
CDS Brazil 5yrs		bps	211.71	210.53	0.55%	4.65%	216.67	200.64
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11.54	11.31	-1.94%	7.83%	11.54	11.05
DI Future Jan23 (金利先物)		%	12.025	11.860	-1.37%	3.76%	12.14	11.75
SOFR 90日 (Average)		%	0.04911	0.04911	0.00%	-0.24%	0.04911	0.04911
CRB Index (国際商品指数)		Index	241.59	245.19	1.49%	8.54%	245.19	232.37

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。